

おりもの
織物まめちしき

じゅうようむけいぶんかざいしてい
重要無形文化財に指定
されている織物
()内は使用する素材



おぢやちみえちごじょうふ
小千谷縮・越後上布
にいがたけんちよま
新潟県(苧麻)

小千谷縮・越後上
布は福島県昭和村
の手績み糸を使用

ゆうきつむぎ
結城紬
いばらきけん
茨城県・栃木県(真綿)

くるめかすり
久留米紬
ふくおかけん
福岡県(木綿)

くめしまつむぎ
久米島紬
くめしまわた
久米島(真綿)

みやこじょうふ
宮古上布
みやこしま
宮古島(苧麻)

きじよかばしよふ
喜如嘉の芭蕉布
おきなわじま
沖縄島(糸芭蕉)

じょうふ
上布 : 薄地で最上級の麻織物

つむぎ
紬 : 紬糸などを使った
先染めの織物・生地

かすり
絞 : 絞糸で柄を織り出す技法

ねる
撚る : ねじりあわせること
(つなぐ/強度を出す)

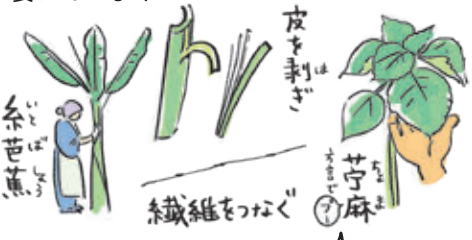
糸の作り方がちがう！

紡ぐ

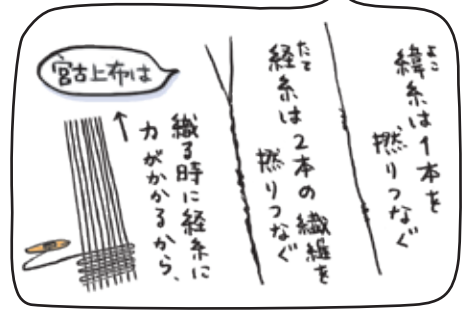
績む

めんまゆせんいひ
綿や繭から繊維を引きだす

あさばしようしよくぶつせんいほそきんいつ
麻や芭蕉などの植物繊維を細く均一に
裂いてつなぐ



たんおとなようわふくいつちやくぶんきじ
一反：大人用の和服一着分の生地
幅約36cm、長さ約12m



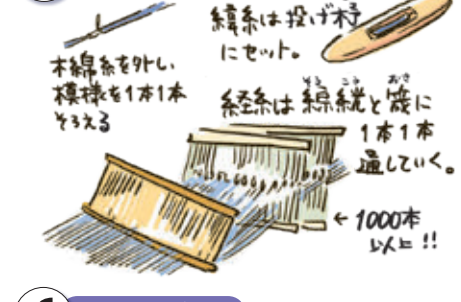
重要無形文化財 宮古上布のできるまで

これらの一連の流れをひとつの島
で完結しているところは他にない

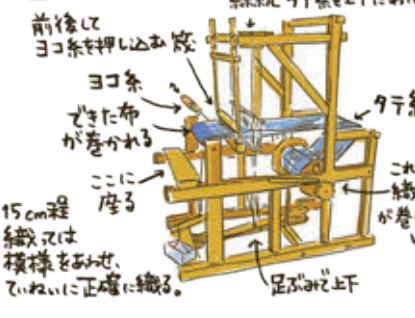
1 糸つくり 2 デザイン



3 染め 4 織りの準備



5 織り 6 仕上げ

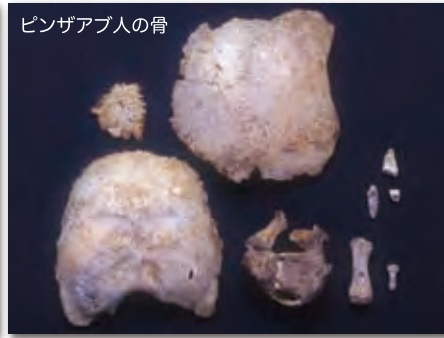


宮古島市伝統工芸品センター

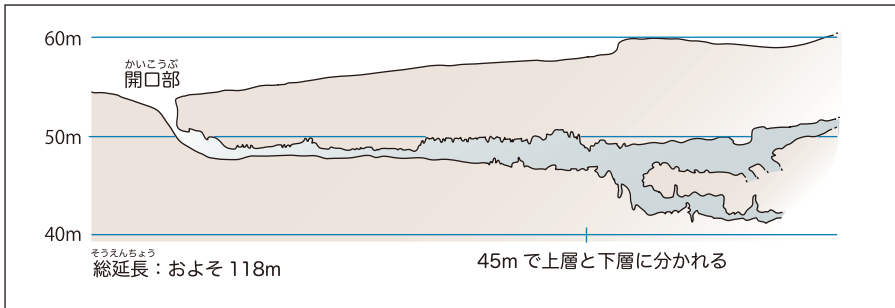
センターでは宮古上布や道具、糸の展示などを通し、歴史や
製作工程を学ぶことができます。また、製作工程の見学や体験
教室、研修生の育成なども行っており、見て触れて学べる施設
です。宮古上布、宮古織、宮古麻織の販売も行っています。



ピンザアブ遺跡



写真：藤田祐樹氏

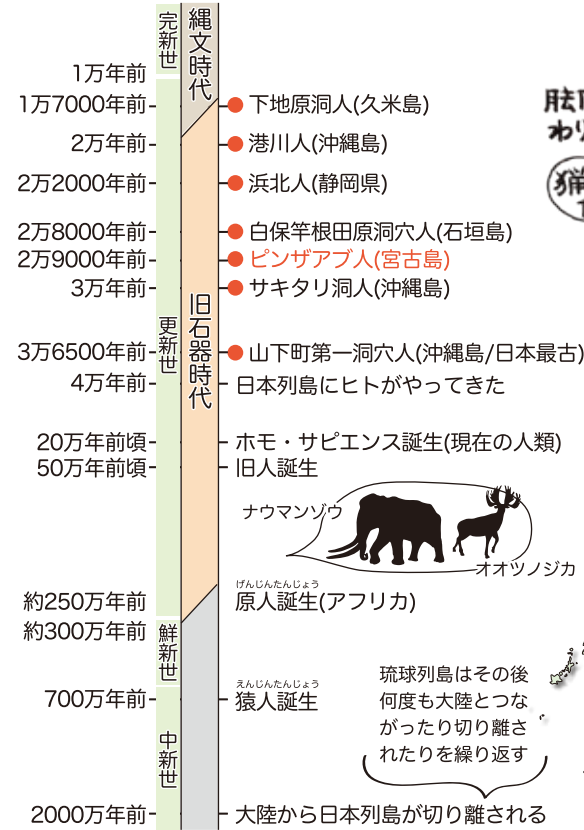


ピンザアブは上野字野原に位置する洞窟で、宮古の島の成り立ちを紐解く重要な遺跡です。過去の調査でおよそ2万9000年前の人骨や、約40種類の動物の化石が発見されています。発見された人骨は頭骨に厚みがあり、やや原始的な特徴があるとされます。動物の化石は、ミヤコノロジカやハタネズミ、鳥類など、宮古島にのみ発見される種が多く見つかっています。



日本で発見された旧石器人骨

石灰岩が多い琉球列島には、今から4万年前に初めて日本列島に渡ってきた旧石器人の人骨がよく残っており、沖縄南部で発見された港川人はその代表例です。



参考:骨格から復元した港川人(1号) 沖縄県立博物館・美術館

旧石器時代はナウマンゾウやオオツノジカなど絶滅動物がいた時代。氷河期時代でもある

日本列島の大部分が針葉樹林 = 寒かった

はまきたねがたいせきしずおか 浜北根堅遺跡(静岡)

やましたちようたいいち どうけつ いせき 山下町第一洞穴遺跡

さきたり どういせき サキタリ洞遺跡

みなとがわ いせき おきなわじま 港川遺跡(沖縄島)



年代が確定されたものはたったの7遺跡。しかも沖縄に集中している。

しほ ぼきお ね た ぼる どうけつ いせき いしがきじま 白保竿根田原洞穴遺跡(石垣島)

日本列島で旧石器人骨が出土している遺跡

参考:『南の島のよくカニ食う旧石器人』(2019) 藤田祐樹著

野原鏡原のイヌマキ林



面積：約1ha、林齢35年、植林数3200本

野原鏡原のイヌマキ林は、文化財建造物の修繕に利用できる資材の供給地です。2017(平成29)年に文化庁により沖縄県で初めて「ふるさと文化財の森」に認定されました。イヌマキは耐久性に優れ、湿気やシロアリにも強く、昔から建築材として活用されてきました。戦前戦後の乱伐や林業の衰退によってイヌマキも減少傾向にあり、この林は文化財修復につながる貴重な資源です。



宮古島のシンボル

市木

ガジュマル

クワ科イチジク属。
常緑高木で熱帯雨林では20mもの大木になる



市鳥

宮古諸島は越冬のために南下する中継地。昔は食料として捕獲されていた。環境省によって絶滅危惧種に選定されている

市花木

マメ科の落葉高木。琉球漆器や各種工芸品にも使われる

市蝶

オオゴマダラ

日本最大級の蝶。
飛び方はゆるやかで優雅。
サナギは金色に輝く



市花

ブーゲンビレア

常緑のつる性植物。
花は赤や青、黄、白と色彩豊か



市魚

グルクン (和名：タカサゴ)



沖縄からインド洋・西太平洋の熱帯域に分布する海水魚で、重要な食用魚

市貝

スイジガイ (水字貝)

6本の突起が水の字に似ていることから魔よけや火難よけとして利用される

みや こうま

宮古馬



みや こうま にほん しゅるい ざいらいば いっしゅ たい
宮古馬は、日本で8種類しかいない在来馬の一種です。体
高が120cmほどで、ひづめが太くて堅く、足が強い馬です。
けいろ かげ くりげ おお み せい かく おとな なが
毛色は鹿毛や栗毛が多く見られます。性格は大人しく、長い
れきし なか のう こう りゅうきゅうけいば りょう こうのう ば
歴史の中で農耕や琉球競馬などに利用され、貢納馬としても
おう ふ けんじょう
王府に献上されました。

せんぜんせんご とお せいとう さぎょう おお にな て
戦前戦後を通して製糖作業の大きな担い手となりました
が、機械化や交配によって数が激減し、現在は宮古馬保存会
ぞうしよく ほ ぞん かつどう おこな
によって増殖・保存活動が行われています。

日本在来馬・宮古馬

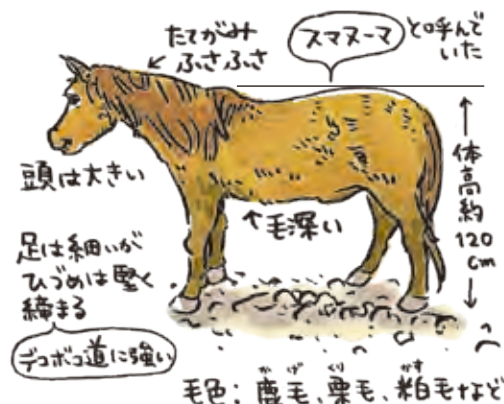
にほんざいらいば がいらい ばしゅ
日本在来馬とは、外来の馬種とほとんど
こうざつ のこ こゆう うま
交雑することなく残ってきた日本固有の馬
そうしやう げんざい しゅるい
の総称で、現在8種類の在来馬がいます。



日本在来馬

宮古馬の特徴

大人しく耐久力がある。
粗食に耐え、病気に強い



鹿毛

被毛: 暗褐色～
明るい茶褐色



長毛と
四肢下部は
黒色を帯びる

被毛: 体の表面に生えて
いる短い毛
長毛: 体の一部に生えている
長い毛。まえがみ、
たてがみ、尾など
原毛: 基礎になっている毛

栗毛

全身が黄褐色
(栗毛)



長毛: 被毛より
濃色～白色
四肢下部の
黒さはない

粕毛

原毛色に白が混
じり、体が灰
色っぽく見える



宮古で
人気があ
った

宮古馬 かんたん歴史

たかうす すしがー ぶかま ししなん 高腰城跡、尻川、外間、尻並 跡から馬の骨・歯が出土
14～17c 琉球王朝から中国へ献上
1656 薩摩に献上
1697 馬場を設置(現在の市営馬場団地)
献上馬や御用馬の献上用に 使用。そのため、農民の乗馬 を禁じ、老衰しても殺さず 自然死させ、皮は剥ぎ、肉は 埋葬することとされた。
1916 馬匹(ばひつ)去勢法 施行
軍馬生産を目的に、在来の オス馬はすべて去勢を義務 付け、国が指定する大型メ ス馬を交配に強要。
宮古住民は猛反対
1922 適用除外区域として宮古馬の 去勢撤廃
結果、雑種化を防いだ
1935 皇太子の乗馬用として宮内 庁が購入
1940 飼育数、1万頭を超える
戦後 農業の拡大により馬の大型 化が求められ、雑種化が進 む。また、機械化により減少
1977 全島調査。宮古馬の純度の 高い14頭を確認。保存の動 きが強まる
1980 宮古馬保存会 結成
2022 飼育数48頭まで増加

台風銀座 宮古島

日本本土に接近する台風は、年間平均10個で、宮古には年間平均約4個の台風が通過し、「台風銀座」と呼ばれるほど台風の接近が多い地域です。

宮古では、サラ、コラ、デラ、マエミーの4つの台風が大きな災害を伴った台風として語り継がれています。

復帰前は米軍が発表する英名を使っていた

※2000年からはアジア名

発生年	1959(昭和34)	1966(昭和41)	1968(昭和43)	2003(平成15)
名称(英名※)	宮古島台風 第14号(サラ)	第二宮古島台風 第18号(コラ)	第三宮古島台風 第16号(デラ)	台風第14号 (マエミー)
最大瞬間風速	64.8m/s	85.3m/s	79.8m/s	74.1m/s
最低気圧	908.1 hPa	928.9 hPa	942.5 hPa	912.0 hPa
全壊	2,489戸	2,768戸	907戸	18戸
半壊	2,685戸	4,756戸	2,751戸	86戸
死者	7名	0名	3名	1名
重傷者	19名	4名	1名	7名
軽傷者	64名	37名	9名	89名

『沖縄県災害誌』(1977)、『平成15年台風14号災害記録誌』(2005)、宮古島気象台

サラ台風(1959.9.12)

当時は茅葺や木造が主流だったため、島の7割以上にあたる住宅が被害に遭い、多くの犠牲者が出ました。

この台風は、当時の沖縄管内観測史上最低の気圧を記録しています。

川崎駅に石敢當！？

神奈川県川崎市は、沖縄からの出稼ぎ者が多く日頃から交流があったことから、サラ台風の被害に対し、約1万ドル(約360万円)の義援金が届けられ

ました。その返礼として当時の琉球政府から石敢當5基が寄贈され、そのうちの1基が川崎駅前交通安全を祈願し、設置されています。

石敢當は丁字路に置かれ、悪いことが起こるのをふせいだり、魔物がやってくるのをふせぐといわれています。

宮古島のトラパーチンが使われている

川崎駅東口にある石敢當



コラ台風(1966.9.5)

この台風で記録した最大瞬間風速85.3m/sは、日本の平地での気象観測史上1位です。長時間にわたる暴風雨によって島外との通信が途絶え、一時孤立状態になりました。島の半数以上の住宅が損壊、豊作を予想されたサトウキビの7割以上が収穫不能になるなど、甚大な被害が発生。国内で初めて災害救助法が適用されました。

日本産業開発青年隊

第二宮古島台風災害救援記念碑

コラ台風の被害に対し、建設省(現国土交通省)から派遣された日本産業開発青年隊32人が来島し、約1か月に渡って応急仮設住宅20棟の建築や損壊した施設の撤去、修復などにあたりました。宮古島市熱帯植物園の敷地内に記念碑が建立されています。



熱帯植物園内の石碑

デラ台風(1968.9.23)

コラ台風被害の2年後だったため、家屋が全壊して仮設住宅に住んでいた

約300世帯(1,800名)も再び被災、災害救助法も再度適用されました。この時代の台風被害を契機に、建物が台風**に強いブロック造・コンクリート造**に変わっていきました。

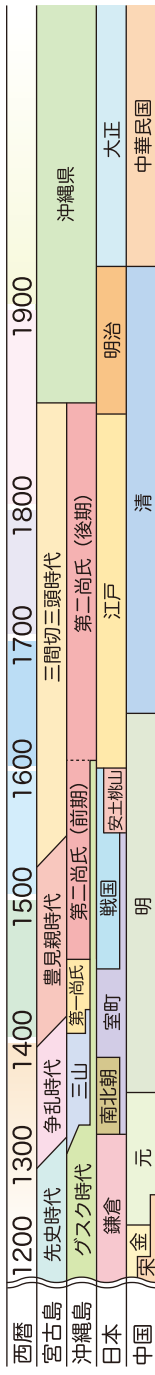
マエミー(2003.9.11)

この台風で約1,900本の電柱が倒壊し、島内ほぼ全世帯が停電しました。コンクリート造の建物が多かったことから倒壊数は激減したものの、ガラスが割れるなどで発生した屋内被害は少なくありませんでした。



城辺町の電柱被害
写真:琉球新報社





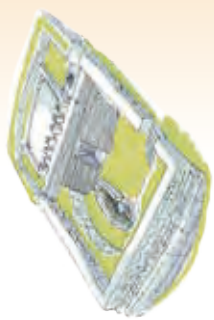
みやこ じんぶつ ねんひょう
宮古の人物年表

名前(生没年)・事象/関連キーワード・史跡
 — 夫婦
 …… 子、兄弟姉妹、親族、子孫
 — 養育、養子
 — 書籍(発行年)

保里天太/保里御嶽
 保古利屋盛
 居士佐加利
 真徳金(飛鳥翁)/飛鳥御嶽
 起目翫殿
 思千代按司/石原城
 西銘こぜさかり
 於母婦
 目娥月
 思免嫌

成焼太郎(西銘嘉播親)/西銘御嶽
 長井の里の真主
 根間角嘉波良天太氏/外間御嶽
 根間大按司
 『御嶽由来記』(1705)
 『雍正旧記』(1727)
 『宮古島記事仕次』(1748)
 『宮古島記事』(1752)
 『宮古島在番記』(1780)

目黒盛豊見親/漲水御嶽、犬井、東原御嶽
 眞誉の子
 仲宗根豊見親(1457~1523)/仲宗根豊見親墓、漲水御嶽の石垣、中導氏仲宗根家の庭園
 根間大親
 知利真良豊見親/知利真良豊見親墓
 仲屋金盛豊見親(~1532)/仲屋金盛ミャーカ
 …… 眞保那璃/仲屋まぶなり御嶽



佐多大入/与那覇ばらの一団、支石墓
 与那覇勢頭豊見親/ニーマトゥクルザー、与那覇勢頭豊見親沖繩島発見出発之地碑
 森川大殿
 大立大殿/大立大殿みゃーか
 久知名按司/クジナ御嶽、ミスヌマ遺跡

大嶽按司/大嶽城跡
 ビギタリ/大御嶽
 知呂按司/中御嶽
 金丸金按司/西御嶽
 川満大殿(1458~没年不明)/川満大殿の古墓、河充家の系図
 四島の主/四島の主の墓
 オヤケ赤蜂征討(1500)



金志川金盛(~1522)/金志川泉、金志川御嶽、金志川豊見親屋敷跡
 稲石刀自(1545~没年不明)/綾鑄布、宮古上布、真屋御嶽、産業界恩人の碑
 砂川朝雲上旨屋(1591~1667)/芋の主御嶽、産業界恩人の碑
 下地朝雲上恵根(1626~1703)/大野山林、産業界恩人の碑
 友寄親雲上/馬場
 島津の琉球侵略(1609)
 人頭税制施行(1637)



綾鑄布
 内立按司
 高腰城跡
 野城按司/野城泉
 マムヤ/マムヤの屋敷跡、機織り場・墓
 クバラバース/狩俣集落
 大城殿/アースカー、クススカー
 大浦多志豊見親/大浦多志城跡
 喜佐真按司/喜佐間御嶽—さあね/ナーパイ
 久場嘉按司/クバカ城
 …… 普門好善/好善ミガガマ御嶽
 テマカ按司/テマカ城跡
 来間大殿/スラムリャーミャーカ
 赤良友金/比屋地御嶽
 豊見氏親/古文書・典籍及び刀剣

恩河里之子朝雲上(~1874)/墓碑
 プロートン(1762~1821)/プロビデンス号
 乾隆三十六年大波(1771)
 本村朝祥(1803~1876)/本村家「報本」碑
 ロベルトソン号座礁(1873)/ドイツ商船遭難之碑、ドイツ皇帝博愛記念碑
 国仲寛徳(1873~1929)/五ヶ里開削記念碑
 廃藩置県/琉球処分(1879)
 城間正安(1860~1944)/人頭税廃止運動
 中村十作(1867~1943)/人頭税廃止運動
 川満亀吉(1864~1928)/人頭税廃止運動
 人頭税制廃止(1903)
 端麗寛朝牛(1885~1945)/瑞福隧道
 慶世村恒任(1891~1929)/宮古史伝
 稲村賢敷(1894~1978)/宮古島庶民史

1300 1400 1500 1600 1700 1800 1900



クイチャー

文化財の体系図

文化財の種類

特に価値の高いもの

特に重要なもの

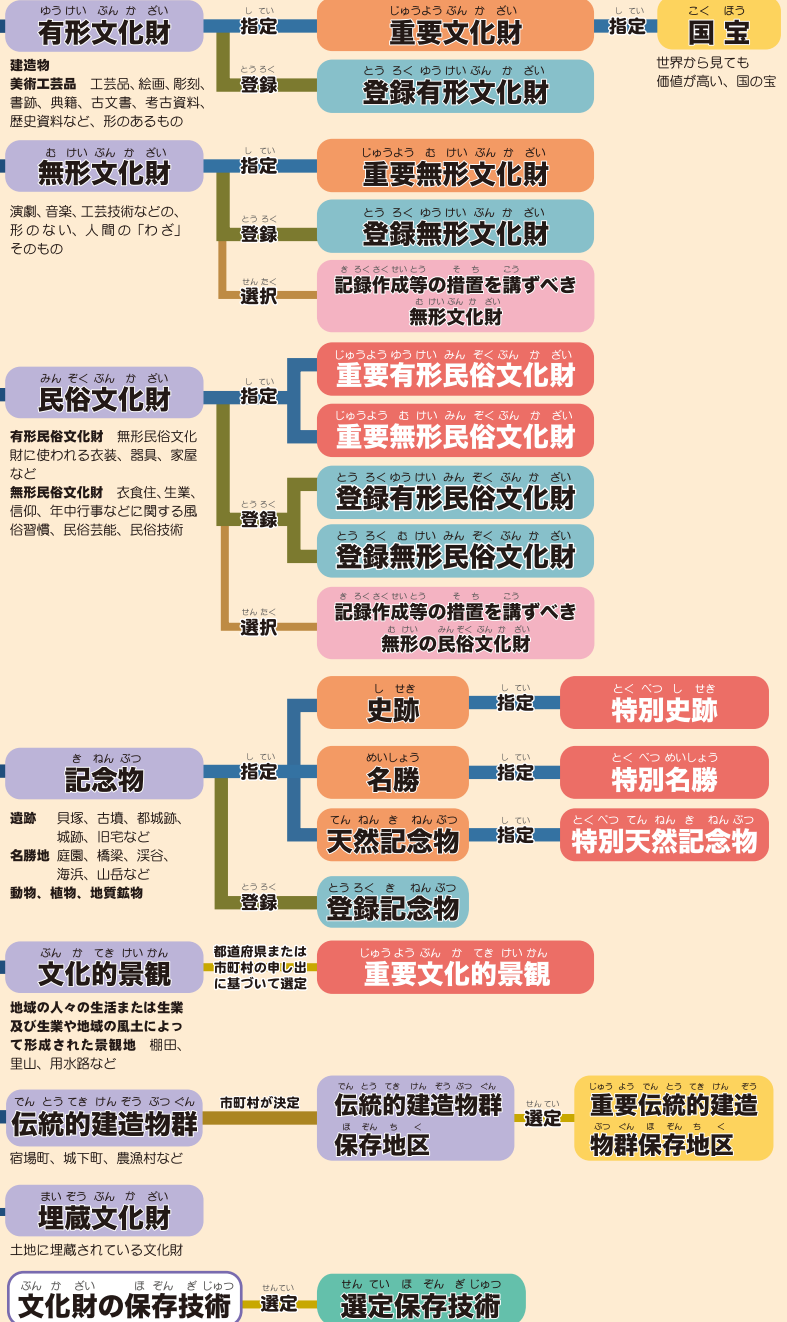
重要なもの

文化財

特に必要のあるもの

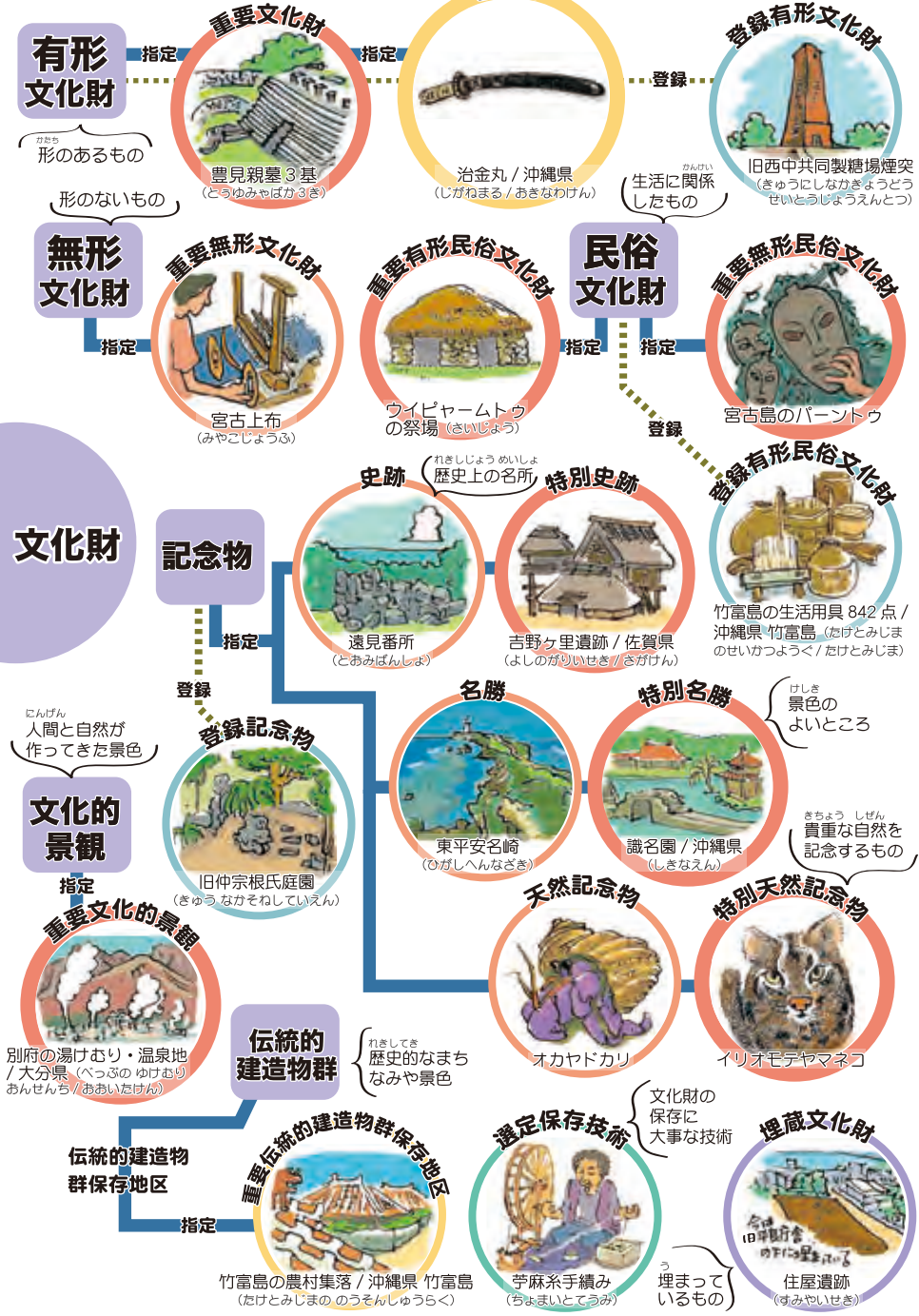
保存と活用が特に必要なもの

保存できるよ考えの必要のあるもの



それぞれの文化財の一例

※宮古島市や、沖縄県、九州にある文化財の一例



わたし ぶん か ざい
私たちの文化財です

たい せつ
大切にしましょう

ぶん か ざい きょ か む だん げんじょうへんこう
文化財を許可なく無断で現状変更する
ことは法律で禁止されています。



この冊子は非売品です。NOT FOR SALE

宮古島市neo歴史文化ロード 綾道(下地南・上野野原コース)

発行 初版 2022(令和4)年3月
改訂 2025(令和7)年10月
編集・発行 宮古島市教育委員会
〒906-8501 沖縄県宮古島市平良字西里1140番地
TEL 0980-72-3764 FAX 0980-73-1976
イラスト・デザイン 山田 光